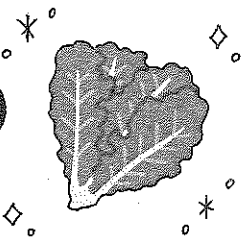


# 見て感じて♡食べてみよう! ~生産者さんを紹介します~



1月18日の給食には、「キューサイファーム島根」さんのケールを使った「ケールとたまごのソテー」が登場します。キューサイファーム島根さんは、「キューサイ」さんで販売している青汁の材料となるケールの栽培を自社農園で行い、近くの工場加工をしております。今回は、キューサイファームさんの安心・安全でおいしいケール作りについて、お話を伺ってきました。

## ★「キューサイファーム島根」のこだわりPoint★

### その① 徹底された品質管理

キューサイファームさんの農場では、農薬は一切使わず、ケールを栽培しております。ところが、周りの農家さんの農薬が風で飛んで来ることもあるそうです。そこでキューサイファームさんでは、全てのケール畑と青汁の製法に農薬が付いていないか、たくさん検査を行って確認し、合格したものを、私たちに消費者のもとへ届けてくださいます。



廣田 英二 社長

益田の農家さんたちは、キューサイファームさんにとっても協力的で、農薬の扱いに気を配ってくださっているそうです😊

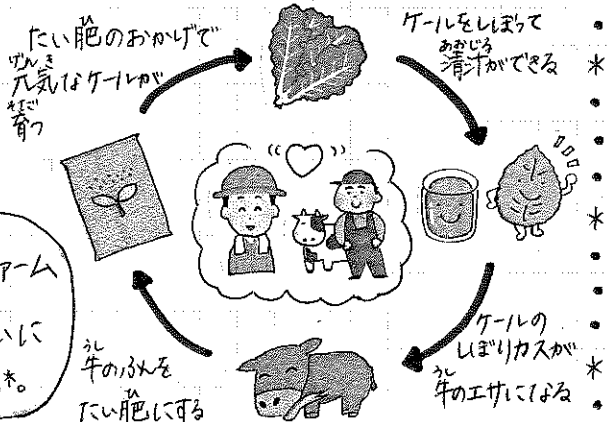
### 子どもたちへのメッセージ

こだわりの栽培でできたケールはとても大きく育ち、そのケールは栄養が豊富で、「スーパー緑黄色野菜」と言われています。カルシウムやビタミンなどの栄養素がたくさん含まれていて、元気が体づくりに欠かせません。私たちが一つひとつ手間暇かけて育てた愛情に、ぷりぷりのケールをたくさん食べて、勉強やスポーツを頑張る元気に学校生活を送ってください。

循環型農業とは? ...  
ごみになるものからできたたい肥を使って農業をすること。

### その② 循環型農業

キューサイファームさんでは、11月の給食「はじり」で紹介した「松永牧場」と協力して、循環型農業を行っています。



農薬が使えないので、虫は1匹ずつ手作業で取り除きます。🐛...



ケールは年に2回栽培をしますが、9月植えのケールは、暑くて虫が出やすい時期や台風の時を乗り越えなくてはなりません。無事に収穫できた時が一番うれしいです。

どうして益田なの? ...  
益田は島根県の中でも、太陽の出ている時間が長く、農場と工場を近くにつくれる広い土地もあって、ケール作りに適してんば!

